

第5号様式(第7条関係)

会議録

| | |
|---------------------------|---|
| 会議の名称 | 令和7年度清須市放課後子ども教室運営委員会 |
| 開催日時 | 令和8年1月26日(月)午前11時から正午まで |
| 開催場所 | 清須市役所南館3階303大会議室 |
| 議題 | 1 放課後子ども教室の現況について 2 令和8年度放課後子ども教室について 3 その他 |
| 会議資料 | 会議次第 名簿 資料1 西枇杷島放課後子ども教室 古城放課後子ども教室 清洲放課後子ども教室 清洲東放課後子ども教室 新川放課後子ども教室 星の宮放課後子ども教室 桃栄放課後子ども教室 春日放課後子ども教室 資料2 清須市放課後子ども教室の利用に関するアンケート |
| 公開・非公開の別 (非公開の場合はその理由) | 公開 |
| 傍聴人の数 (公開した場合) | 0人 |
| 出席委員 | 山本委員、堀江委員、杉本委員、庄司委員、佐野委員、川尻委員、小川委員、井藤委員、黒木委員、伊藤(高)委員、石原委員、伊藤(泉)委員、太田委員、伊藤(邦)委員、加藤委員、水野委員、大島委員、吉田委員、堀部委員、白鳥委員 |
| 欠席委員 | 大谷委員 |
| 出席者(市) | 天埜教育長、石黒教育部長 |
| 事務局 | 瀬尾学校教育課長、小崎学校教育課課長補佐、鳴中学校教育係長、林主査 |
| 会議の経過 開会 | ●学校教育課長 おはようございます。少し早いですけれども、ただいまから令和7年度清須市放課後子 |

ども教室運営委員会を始めさせていただきます。皆様におかれましては、大変お忙しい中、当運営委員会にご出席いただきましてありがとうございます。私は本日の進行を務めさせていただきます、教育部学校教育課長の瀬尾と申します。どうぞよろしくお願ひいたします。

本会議は清須市附属機関等の会議の公開に関する要綱の規定により公開会議となります。

まず開会にあたりまして、天埜教育長よりご挨拶をさせていただきます。

1. あいさつ

●教育長

改めて皆様おはようございます。大変ご多用の中、また寒波冷めやらぬ中、お越しいただきました、本当にありがとうございます。

また日々ですね、放課後子ども教室の運営等ご支援等に様々ご協力いただきまして、重ねて御礼を申し上げます。ありがとうございました。

今市役所の方ですが西館増築に伴いまして南館も今ちょっとした改築といいますかして、ようやく3階と4階が終わりまして、3階がこの状態で、随分明るくなりまして、それから暖かになりましたので、快適に過ごせるかと思います。

本日はですね、毎年のようにこの1年の各教室でのご報告やら、それから保護者の皆様からのご意見、次年度に向けての課題、それを含めて事務局交えて交流共有する場ではございますが、私としては出席させていただく理由は、直接先生方スタッフの皆様方保護者皆さんにお礼を申し上げる機会という風に思っておりますので、この場を借りまして、この1年間様々放課後子ども教室の運営に関しまして、感謝を申し上げます。ありがとうございます。

毎年申し上げているのですが、月報というのが毎年毎月来るんですけども、読まさしていただきまして、本当に先生方スタッフ皆様方はですね、細やかにそれから丁寧にご配慮やらご対応していただいているな、それから子どもたち、預かっている子どもたちに温かいまなざしで接していただいているなってこともいつも月報を読まさしていただく度に実感しております。本当に感謝申し上げておりますのでありがとうございます。

今ひとつ今日申し上げたいことはですね、すでに瀬尾課長それから嶋中係長の方がすでに全教室へ回ってご説明をさせていただいておりますが、放課後子ども教室のいわゆる4年生以降ですね、全学年対象というものがいよいよ来年度から始まります。

これはもうずっと以前から保護者ご家庭の方からもずっとご要望をお聞きしておりましたことでありますし、市長としても強い要望がありまして、今回公約の1つにもこれはありました。私ども教育委員会としましても、ちょうど小学校の部活動が段階的に3年をかけて今年度末でちょうど終了することになります。そのタイミングで来年度以降、放課後の子どもたちの居場所の1つとして、次年度以降、放課後子ども教室も受け入れ可能というふうにしていきたいということで今回踏み切った次第でございます。

当然踏み切るに当たりましては様々な懸案事項もあるっていいうのは重々承知をしておりますので、どうぞそんなことは様々事務局にも教えていただき、なんとか少しでも懸案事項を解消しつつ、円滑な放課後子ども教室の運営に尽力をしていきたいと思いますので、どうか皆様方のご理解とご協力を重ねてお願いを申し上げます。

今後も引き続き大切なお子様の放課後をお預かりする場でございますので、私ども行政としてもしっかりと支援をしていきたいと思ってます。この後様々な報告を聞かせていただきたり、意見の交流等さしていただいて、ぜひ次年度へも活かしていきたいと思っておりますので、実りある時間となりますように、どうぞよろしくお願ひいたします。以上でございます。

●学校教育課長

ありがとうございました。天埜教育長は他の公務がありますので、ここで退席となります。

次に本日ご出席いただいている委員の皆様の自己紹介ですが、名簿と配席表をもって代えさせていただきますので、よろしくお願ひいたします。なお古城放課後保護者代表大谷様より欠席の連絡を受けております。

2. 議題

●学校教育課長

それでは議題（1）の放課後子ども教室の現況について、事務局から説明をさせていただきます。ここから進行の方、着座にて失礼いたします。

●事務局

学校教育課の林と申します。私からは放課後子ども教室の現況について説明させていただきます。着座にて失礼いたします。お手元の資料1をご覧ください。

現在、清須市では、令和元年度から市内すべての小学校にて、放課後の子どもたちの居場所づくりを確保することを目的として、余裕教室や体育館の部屋を使用して、小学校に通う1年生から3年生までの児童を対象に学習、軽スポーツ及び伝統的な遊戯などを行い、放課後子ども教室を実施運営しています。各教室の開設時期は、表のとおりです。

続きまして、運営体制は、それぞれの教室において通常時、指導員1名と補助員2名の計3名体制で運営しています。参加人数が多い教室の運営体制は、清洲東放課後子ども教室が、指導員1名と補助員3名の計4名体制。春日放課後子ども教室が、指導員1名と補助員4名の計5名体制。清洲放課後子ども教室が、指導員1名と補助員7名の計8名体制で運営しています。一斉下校日・保護者懇談会等の行事の日には、利用者が多数になりますので、子どもの行動に目が行き届くよう補助員を増員して安全性を重点におき対応しております。

続きまして、本年度の利用登録者数は12月末現在で965人です。平均利用者数は教室によって差があり、最小で12人、最大で91人です。学年別の内訳は表のとおりです。本年度はインフルエンザの影響による学級閉鎖により、利用人数が減少した日もありました。また、学校行事などの理由により1日の最大利用者数が135人になる教室もあります。そのような場合は、先ほども申し上げましたように、各教室で補助員を増員するなどの対応をしていただいております。

続きまして、裏面をご覧ください。各教室での事故による怪我等の状況ですが、12月末現在で、怪我で傷害保険を利用した利用者は6件ありました。内訳としては、ボール遊び中の怪我が4件、かけっこなどその他の遊びの中での怪我が2件で、主な怪我の内容といたしましては、ボールで指を突いたことによる骨折、転倒したことによる打撲などです。今年度は特にボール遊び中のけがが多い傾向にありました。指導員の皆様におかれましては、お忙しい中ではございますが、引き続き子どもたちの安全にご配慮いただきますようよろしくお願ひ申し上げます。

続きまして、放課後児童クラブとの連携についてです。国から示されている放課後児童対策パッケージの一環として、児童館で実施している放課後児童クラブと連携した事業を実施してまいりました。ドッジボール大会やトランプゲームといった放課後児童クラブとの交流活動が行われています。

最後になりますが、各教室の指導員の皆様におかれましては、外部のボランティアの方を招いての読み聞かせや工作などの活動、また七夕の笹飾り作りやハロウィンお楽しみ会、クリスマス会などの季節行事にちなんだイベントなど、子どもたちが毎日楽しく通えるように工夫をこらし、一所懸命に放課後子ども教室の運営に取り組んでいただきましてありがとうございます。今後とも引き続き子どもたちの安全を第一にご指導よろしくお願いします。以上でございます。

●学校教育課長

ただいま事務局から実施状況の報告をさせていただきました。続きまして、各コーディネーターの先生より、それぞれの教室の実施状況についてご報告をいただきます。それでは西枇杷島放課後子ども教室伊藤先生からお願ひいたします。

●伊藤（高）委員

それでは失礼します。西枇杷島放課後子ども教室の伊藤と申します。よろしくお願ひします。座ったままで失礼します。

運営委員会の資料を出させていただきました。1番、2番につきましては、どこも同じような形でやっているのかなと思いますので、割愛させていただきます。

3番、年間行事工作などの計画ということで、指導員それから補助員と協力をして、年間の行事をこのような形で計画をしております。ごめんなさい2番目ですね。

3ページの3番のところにこういうような形で毎月、何らかの工作であったり、あるいは行事などを、特にボランティアの方の活用をしていきながら、こういった行事を行っております。

それからその下4番です。放課後子ども教室だよりの方の発行をして写真等で活動の様子を知らせておりますが、今年はいろいろ画像とかいろんなこと言われている状況ですので、なるべく子どもたちの顔が映らないように工夫しながら、おたより方も作っております。

はねていただきまして、最後成果と課題というところで書かさしていただきました。補助員の先生方とか多くのボランティアの講師の方々、特に保護者の方々のご協力で運営で、それなりに成果が出ているんじゃないかなというふうに思っております。その中で4番です。工作は子供たちが大変興味を持って参加し、満足感達成感を与えてるんじゃないかなというふうに思っております。でもそれについては、補助の先生がとても工夫して、これまでの経験とかあるいはいろんな、その都度使っていろいろ子どもたちの楽しめるような工作をやっております。また子どもたちもとても楽しんでやっているので、今後もしっかりと取り組んでいきたいなというふうに思っております。

それから6番です。子どもたちの仲間づくりの中で規律を守ること、学習習慣の徹底、常に課題として、意識はしているんですけども、なかなか難しい部分もあります。なかなか1つのことを一生懸命やれない、宿題になかなか取り組めないという子もいるので、今後もそういった子に対して、ケアの方をしていきたいなというふうに思っております。また小学校とも常々会話をするようにしております。情報交換をしておりますので、今後とも積極的に心がけていきたいと思っております。

7番です。読み聞かせ、工作、レクリエーション活動などでボランティアの方々に協力していただいておりまして、講師の方も招いて、今年はフラワーアレンジメント、それから新しく囲碁教室を先日やりましたけれども、とても好評で、そういったことも今後も続けていきたいので、また講師の報酬料もかかりますけれども、その辺も工夫しながらやっていきたいなと思っております。ボランティアの方には本当にいろんなところでやつていただきたいので、今後もぜひ協力してやってきたいなと思っております。

8番に書いてありますけれども、やっぱり遊び道具がなかなか古くなったり破損するものがありますので、少しずつ限られた予算ではありますが、進めていきたいなというふうに思っておりますが、昨年度からおたよりの中でかなり積極的にぜひ寄付の方をお願いしますというふうにお願いしていたところ、大分それなりに寄付なんかも集まりました。本も大分増えたような形です。今後ともこういったことを続けていきたいなと思っております。

それから10番ですが、来年度から4年以上の高学年を受け入れるというふうで、先ほども天埜先生からお話をありましたけれども、実際来年1年生になるんだけどもということをお母さんからちょっと戸惑いがあると。6年生が、そんな大きな子が一緒におって、安全な形ができるだろうかみたいなことの懸念も、保護者の方からも伺っています。我々も指導員補助員とともに、まだそういう経験がないものですから、高学年の子たちをどういうふうに、安全な形でこの放課後子ども教室が運営できるかということを、これからもちょっとと考えながらやっていかなきゃいけないなというふうには思っております。

そういった意味でも他の放課後教室や児童クラブ、あるいは地域の取り組みなども今後参考にしていきながら、良い形で放課後教室が、子ども教室が運営できるように、今後も

工夫していきたいなというふうに思っております。

以上、ちょっとかいつまんでお話をさせていただきました。

●学校教育課長

ありがとうございました。

本日お越しいただきました西枇杷島放課後子ども教室の保護者の代表杉本様、ご利用いただいているところでのご感想やご意見などをお願いいたします。

●杉本委員

西枇杷島小学校の杉本といいます。いつも大変お世話になっております。保護者としましては、児童館を利用するほどではないけれども、子どもを預けることができる場があるっていうのはとても助かっております。うちの場合ですと、常にあるわけではないけど、介護の要請っていうのが時々来ますので、普段から登録してっていうことではないけどっていうのは大変ありがたいです。それが6年生まで延長できるっていうことは、今後を考える中で大変安心に繋がっております。

子どもはその工作の取り組みとかをとても楽しみにしておりまして、家ではなかなかやってあげることができない活動、工作ももちろんですし、講師の先生を招いてやっていただいているフラワーアレンジメントですか、あと補助員の先生方やってくださっている手芸教室ですか、本当にいろいろ工夫をしてくださっているので楽しみに通っております。

何か改善していただけすることが何かあるのかなって考えたんですけども、先ほど指導員の先生が説明してくださったこのレジュメの中にこの年間の行事・工作などの計画っていうのがあったんですけども、これが保護者の方にも伝わって、今年こんな感じでやりますっていうのがあると子どもがちょっと、今日はおうちでゆっくりしたいなみたいなどきに今日はこういうことがあるよ。楽しみだね。みたいな感じで声をかけられるとありがたいなあなんというふうに感じております。おたよりでいろんなお知らせっていうことも伝えてくださっているんですけども、定期的に行ってるわけではないので、なかなかおたよりをもらい損ねてしまったりということもあるので、こういう計画案が示していただけるとありがたいなと思いました。以上です。

●学校教育課長

ありがとうございました。年間の行事計画っていうものをいつでも見られるような形にしていただきたいというような、こういうご要望であったと思います。こちらの方としても、要望に応えられるようにと考えていただきたいと思っています。ありがとうございました。

続きまして、古城放課後子ども教室の伊藤先生お願いいたします。

●伊藤（泉）委員

失礼します。古城放課後子ども教室の指導員をしております。伊藤泉三といいます。よろしくお願ひします。それではお手元の資料の方をご覧ください。

まず1ページ目の方なんですが、登録者数、それから参加者数ということで、参加者数なんかを見てみると大体20名ぐらいのところで推移してると思うんですが、ちょうどですね、私どもとしては、子どもと一対一で対応していく中で、できるぎりぎりの人数かな、ちょうどよい人数と言いますか、そういう意味では私どもの今の古城放課後子ども教室が恵まれていると思います。

そういう中でですね、通常の活動ということでお3番の方をご覧ください。そこに1番から6番までということで、入室し、それぞれリボンの確認とかいろんな確認していくながら、健康観察をし、本日の活動予定なんかをですねお話ししながら、最初にまず学習をやります。特に宿題ということで、こちらの方をこの学習の時間を通して、宿題を自分の力でやっていく。わからないところは説明しながら、そういういたやりとりをしながらやっていきます。そしてそれが終わると、自由時間になるんですが、自由時間はいろんなゲーム等を用意しております。具体的なものはそこに挙げてあるようなものです。2ページ目に実際に子どもたちがそういうゲームをやっている様子の写真が載せてあります。こんな形で過ごしております。

それでは3ページをご覧ください。先ほども懇談会なんかでですね、人数が増えてくるというようなことがお話があったと思うんですが、その時はやはりですねいつもと違って子供たちの指導も、毎日関わっている子とは違う子も入ってくるもんですから、我々スタッフの方も協力しながらですね、その個人懇談会の日、1日どんなふうに生活するかっていうことを計画しながらやっております。あと就学時健診の診断のときだとか、当然2学期も個人懇談会がありますので、そういうときなどは少しいつもとは違った計画で行っております。読み聞かせはボランティアの方にもお願いをしてですね、子どもたちに読み聞かせの方の時間を設けたりなんかをしております。4ページの方の写真を見てください。そちらの方に実際の様子が載っております。あとスタッフの方で仕掛け本の読み聞かせだとかハンカチ落としだとかそういうもの、それから児童クラブとの交流が今回初めてございましたが、実際に我々の方の教室と児童クラブの方との場所の位置だとかいろんなことがあって、1年生だけに、1年生同士だけで今回は交流をやりました。曜日もですねどうしても子どもたちの動きや児童クラブに帰る時間等のこともあるものですから、火曜日という時間で設定をさしていただきました。あとそこにクリスマス会の歌の練習の様子もあります。

5ページをご覧ください。こちらの方はスタッフの方々がですね、いろいろな持っている力をですね発揮していただいて、こういった壁面づくりだとか工作等を計画して行っております。その様子の一例が5ページの方に写真として出させていただきました。

それでは6ページですね、成果と課題というところをご覧ください。まず昨年度同様ですね新型コロナウイルス、インフルエンザの感染防止のために、手洗い消毒などの対応とか、教室、トイレの消毒などの対応に留意しました。

そういうこともあり、何とかここまで特に心配なく生活することができたというふうに思っております。

それから2番目の方なんですが、来年度は先ほどの話にもあるように高学年の参加が予定されておりますので、その対策として、学校教育委員会にお願いして教室の隣にある倉庫を新たに高学年の部屋として借用することが決まりました。

借用した教室はカーペットを敷いたりとかエアコンを設置するなどそういう放課後の子どもたち教室用にですね、改装されることになりました。

3つ目ですが、先ほど懇談会だとか下校時刻が早い時期なんかだといろんなことを行うんですが、実はなかなかですね部屋の中だけの生活ができないものですから、体育館を借りて図書室を借りてなんかしてですね、対応しています。それから水防かるたを市からお借りして遊びを通して防災について考える機会を今年度は設けました。

それから4番は先ほど申しました。それから5番なんですが、実は先ほどと関係があって、本教室の方にあるテレビの画面が非常に小さくてですね、とてもDVDを観たりなんかするのも人数制限がかかってきまして、難しいと。そこでプロジェクターを市の方からお借りしてですね、壁にプロジェクターを使って映し出すということで、例えばDVDを観たりだとか、そんな工夫をしました。

それから、本についても従来本があるんですけども、やはりもう本もですね、読み慣れてしまつてなかなか新しいものを買うわけにはいきませんので、これも図書ボランティアの方にちょっとお願いをしまして、はるひ図書館からですね、毎月30冊の本をお借りして、その新しい本を子供たちに読ませるような工夫をしました。

6番目ですが、やはり子供たちの様子に気になることがある場合もあります。なので学校の先生に相談したり保護者に伝えたりしました。そういうことはすごく大事だなというふうに思っておりますので、今後もしっかりやっていきたいと思っています。

それから7番目なんですけど、保護者の方からですねプラレールなどをはじめとしたいろいろなおもちゃを寄付をしていただきました。現在そういうおもちゃが入っている関係で非常に子供たちも、また違った意味で新鮮さ、新鮮な気持ちを持ってですね、いろんなおもちゃを使って友達と一緒に遊んでおります。

最後なんですが、4月から高学年の児童を迎えることになります。なのでスタッフと運

営方法についてしっかりと話し合って、子どもたちが安全安心して過ごせる放課後子ども教室にしていきたいというふうに考えております。以上です。よろしくお願ひします。

●学校教育課長

ありがとうございました。

続きまして、清洲放課後子ども教室太田先生お願ひいたします。

●太田委員

はい。太田と申します。よろしくお願ひいたします。

1ページ目には3つのねらいとして、清洲放課後子ども教室ではまず、宿題や学習のできる場を作り、学習の意欲を高める。2つ目に、自由な遊びを通して、自分で考え行動する力を伸ばす。

3つ目、これは最近なかなかできないことだと思うんですけども、放課後子ども教室だからできることじゃないかなと思っています。異学年の子との交流によって社会性や協調性を養う。

ページをはねてください。2ページ目には月別の来室者数が載せてあります。これを見ていただくと、もう前年比もう毎月多いんですね。12月までの平均で、1日平均95人、これは前年に比べてプラス9です。それから1月なんんですけども、3学期は例年3年生、2年生の人数ががくんと減ってくるんですけれども、これまで1月、11日経ちましたが、平均77人です。だからもう全然減らないんですね。それから特別活動日の来室者数を見ていただくと、一番多い個人懇談会で135人。それから特別活動ではない、なんにもないんですよ。工作をやるわけでもない、何か特別な行事をやるわけでもない日なのに、9月8日月曜日は104人。9月10日水曜日は108人。はい。だから個人懇談会の人数よりも多い人数が本当に平日に来ていただけます。

3ページの方には活動の状況が載せてあります。これはほぼ、どの放課後子ども教室とも変わらないと思います。

4ページをご覧ください。現在というのは、子どもが学校へ行って当たり前という時代ではもうありません。コロナ禍後、他人とのコミュニケーションがうまくとれない子が多くなり、子育ての難しい時代だと考えています。そんな中、放課後子ども教室の役割は自宅や学校だけではなく、保護者が仕事をしている間、子どもたちを安心して預けられる第3の居場所になっています。それが参加者の増加となって現れています。そこに年度別に来室者数平均人数が載せてあるんですけども、コロナのときには1日平均65、67とほとんど変わらないんですね。やっぱりお母さん方が、うちへ早く帰ってらっしゃいということの影響だったと思います。ところがコロナが終わった後、見ていただくと、1日平均の来室者数がぐんぐん増えてますよね。これは子どもたちを安心して預けられる場所であり、子どもたちが元気に賢く育つ第3の居場所となっているからだと私は思っています。

もう自分が現役の時代にはこういった制度はあったんですけども、大変失礼な言い方なんだけども、学校のおまけぐらいかなというふうに思っていました。でももう今は完全に家庭、学校、放課後子ども教室・児童館が子どもたちの第3の居場所になってるんですね。それをやっぱり再認識しなければ、役割というのを、もう一度居場所の大切さ、子どもたちがここにいて安心できる場となっているんだっていうのを、私たちは再認識する必要があると思います。

学習の時間が終われば、子どもたちは楽しい時間を過ごします。しっかりと遊べるように、自由な遊びの時間を多くしています。勉強以外にもいろいろな経験を積み重ねて成長して欲しいのです。先ほど言いましたが、異年齢集団の遊びは子どもたちにとってすごく魅力的な場所です。もちろんいいことばかりではなく、うまくいかないことや友達とのトラブルも毎日あります。そうした様々な経験をする場もあります。間違ったり失敗したり、友達に負けた悔しさ、自分の無力を上手に受けとめて立ち直る経験が必要だと思います。必要なときには友達と協力したり、助けを求めたりできるようにうまく付き合う方法を生活の中で経験し、学んで欲しいと思っています。子どもたちは日々試行錯誤しながら、社会性を少しづつ身につけていくものだと思います。私たち指導員は明日も来ようかな、

行きたいなと子供たちが思ってくれるような、第3の居場所としての放課後子ども教室をこれからも目指していきます。

12月に個人懇談会があったんですが、その時にたまたま私が階段を降りて、ちょっと交通整理に行こうかなと思って階段を降りていたら、1年生の子どもと1年生の保護者が階段のところで、今日はお母さん早く迎えに来れたんだけども、明日はこんな時間には迎えに来れないけども、家にいる放課後に来る、どうするって聞いてるんですね。そしたらもう子どもはすぐに放課後って言ったんですよ。だからその時それを聞いていて私はとっても嬉しくて、すぐその日の反省会のときに、他の指導員の先生方に今日こんな嬉しいことがあったんだよっていうお話をしました。

課題としては1学期懇談会1日最高135人の参加があり、もう正直言って来年度4年から6年まで来たら1日150人を軽く超えるなと思っています。そうすると居場所がないんですね本当に。135人でもう1年生は学習を後にして、先に体育館で遊ばせ、2、3年が学習を済ませてから交代で教室を利用しました。幸い体育館ではエアコンが使えるので大丈夫なんですが、ただもう机や学習机、もう90人来るともうランドセルを置く場所がないんです。ですので、教育委員会さんの方にはいろいろ無理な注文ばかりをしてるんですけども、本当に人数が多くて、人数が多いとね、ものすごいエネルギーが必要なんです。トラブルも本当に毎日のようにあります。はい。ですから、児童の参加人数に応じて今後も指導員の人数や予算を増やしていただきたいなというふうに思っています。

あと、夏休み中に僕は子ども教室の方の絨毯ですね、絨毯をクリーニングしていただきました。もう9月当初に入ったとき初めて、僕はもう9年になるんですけども、初めて、あ、教室に臭わんな、臭くないなっていう。あの部屋ができてからもう18年かな、なるんですけども、1度もクリーニングされてなかったのでもちろん毎日指導員の先生は子どもたちが帰った後、掃除機をかけてくれるし、机は水拭きしてくれるし、来る前には消毒もしています。でもやっぱりどうしても臭うんですね。はい。もう本当にありがたかったです。以上です。

●学校教育課長

少し耳の痛い話がありましたが、今年度カーペットクリーニングをやらせていただきました。次年度以降も予算の確保に努めていきたいと思います。ありがとうございました。

それでは教室放課後子ども教室保護者の代表庄司様、ご感想やご意見などお願ひいたします。

●庄司委員

おはようございます。清洲小学校3年の保護者の庄司と申します。よろしくお願ひします。

いつも先生がたが温かく迎えて、見守ってくださっているので、3年生になる息子も1年生のときから楽しく通えています。今中1になる兄も3年生まで、今いる先生方にとてもお世話になります。今もたまに顔を出すと温かく迎えてくださって息子も喜んでいます。3年生の息子は1年生の子たちからとても慕われてるようで、一緒に体育館でよく遊んでいるようです。先ほど太田先生もおっしゃってたんですけどなかなか異学年との交流って普段の学校生活ではそういう機会が少ないので、放課後子ども教室ならではなのかなと思っています。宿題や勉強も先生方が親切丁寧に教えてくださりますのでとても助かっています。工作などのイベントもとても楽しいようで、毎月の楽しみの1つとなっているようです。

来年から6年生まで見ていただけるということで、今まで私の周りの仕事をされている保護者さんからも結構4年生以降の居場所づくりについてとても切実な声が上がっていました。兄のときからそれはあります。今回6年生までの拡大をしていただけるということで、地域全体の子育ての環境が大きく前進するとは思っています。非常にありがたいお話をと受けとめています。

ただ、我が校は本当に全校生徒の人数がとても多いため、放課後子ども教室の人数も先ほど表を見ていただくとわかるんですけど利用人数が毎日100人ほど必ず子どもたちがい

て、毎日過ごしているんですけども、今後高学年まで増えるということで、1人当たりのスペースが今まで以上に狭くなつて、怪我やいじめなどのトラブルが増えないかっていうのは、保護者様皆様心配されてるところがあるようです。静かに過ごしたい子と、結構元気に動き回ってる子の方が多いんですけど、そういう子の動線がぶつからないか、もう本当にスペースが狭いところに100人以上というと本当に今でももう、その動線がぶつかることが多々、毎日見ても思うんですけど、その動線がぶつからないかっていうのが心配なのと、あと、1つ高学年になると、ちょっと反抗期入つてくる学年にもなりますので、その高学年に対応できるスタッフの先生方がいた方がいいかなとは思うんですが。今まだ3年生までの対応の先生なんで4、5、6の対応ができる先生が1人でも2人でもいた方がいいかなあとは思います。

本当にとにかく我が校は人数が多くて、でもその割にはスペースが狭いので、今後その足りなくなつてくるスペースが絶対あるので、それをどう増やしていくかというのが、多分我が校の今後の課題かなとは思います。以上です。すみません。

●学校教育課長

ありがとうございました。清洲小学校の放課後ならではの話だと思います。場所の確保の問題、非常に大きな問題だとこちらも認識しております。来年度中に、スペースをより確保できるように、こちらも努力して参りたいと思います。学校の先生の方にも協力していただいているので、これから6年生まで高学年の対応があると思いますけど、そちらについても真剣に考えていくたいと思っております。ありがとうございました。

続きまして清洲東放課後子ども教室の加藤先生、お願ひいたします。

●加藤委員

ご無礼いたします。清洲東放課後子ども教室の加藤と申します。

まず資料を見ていただいて、大きな写真が写っていますが、この写真は林先生コーナー。毎日何かのコーナーをやっています。ちなみに私は社会科出身なので、月火水と世界で起こっている大きなニュースっていうのを子どもにわかるような形で、絵とか地図とか示しながらやっています。例えば今日ですと、昨日上野動物園のレイレイとシャンシャンが最後の日ということで、パンダの写真を貼り、残念だねっていう話をして、また戻つてくるといいねという話をしたいと思っています。林先生は木曜日の担当で、金曜日は長谷部という先生がやってくれます。一番人気があるのは、長谷部先生のクイズコーナーというのが一番人気があります。僕の話は一番人気ありません。

1枚はねていただいて、資料3になっていますけども、ここでお伝えしたいのは、黒ボツの一番下のところかな、児童クラブとの連携ということで、今年はゼロとなっていますが、11月にやりたいなと思っていましたがちょうど11月がインフルエンザが猛烈に流行る時期というのが重なり、残念ながらできなかつたので、児童館の先生とお話し2月3月のどこかでやりたいなと。児童館さんの方はよく連絡を取つてるので、現実はすごい厳しいと思います。もうすごい人数の中でやつて、うちはありがたいなというかね申し訳ないなというような気持ちでやっています。ですから、広い体育館がうちは使えるので、ここを使っていただいて一緒に伸び伸びと遊ばせたいなと思っております。今計画中で、返事は向こうから来ますので、いつがいいですよと、それに応じてやろうと思っています。それからその次のページで、ねらいということで、先ほど居場所っていうのもありましたが、まさにその通りで、子どもたちがここにいたい、ここに行きたい、ここで自分の力を生かしたいという居場所づくりになるように取り組んでいきたいと思っています。

今年は若干人数減りまして、1年生の数がぐつと減つたんですね。その関係で10名ほど減つて、平均としてはそう変わらなかつたんですけども、減つたなという感じがあります。1枚はねて資料4ですね、そのことがそこに書いてあって、あと昨年から黒ボツの4番目に、月曜日と木曜日のところで読書タイムというのをやっています。これ、静かに読めるかなというのが最初の思いだつたんですけども、実はとても静かに読んでいます。習慣づけというのは大変素晴らしいことだなと思っています。またたくさん本も買っていただいてるので、それを繰り返し、読んでいます。

また来年についてはいろいろと準備していただいて、うちの教室の隣には卓球室というのがありますので、そこもちょっと改良していただいて、机とか椅子も入れて、4、5、6年が多いときにはそこを使わせていただきたいと思っています。以上です。

●学校教育課長

ありがとうございました。

続きまして清洲東子ども教室の代表、保護者の代表佐野様、ご感想やご意見などお願いいたします。

●佐野委員

清洲東小学校3年生の保護者の佐野と申しますよろしくお願ひします。

今日はまず3年生の保護者の中で、3年生の子どもたちの中で、一番利用日数の多い保護者の方ということで選ばれまして私は今日ここに来ております。それぐらいうちはもう毎日利用させていただいてまして、毎日大体4時半頃まで、見ていただいている。

1年生のときからずっと言っているんですけども、子どもも来年もまた行きたいっていうふうに、先ほどのねらいで、子どもが行きたいと思える行きたい場所っていうところのねらい通りだと思うんですけど、本人はすごく楽しんで行っています。

こういうことはして欲しいとか不満だとかっていうことはもう一切ないんですけど、私が見ていいいなと思うところなんですが、まず先ほど、私知らなかつたんですけど、月火水は加藤先生担当とかクイズの担当だとかっていうのがあるのも知らなかつたんですけど、子どもに学校の話を聞いても楽しかったしか言ってくれないんです。何があったかも大して教えてくれないんですけど、今日のニュースとかどっかの火山が噴火したとか、クイズを私に出してきたりとかっていうのをここでどうもこうやって聞いていて、そういうことは子どもから教えてくれたりするので、学校の話はあんまり教えてくれないですけど、子どもとの会話の1つになっているっていうのがますすごくいいなと思っています。工作大賞の大賞とか、皆勤賞をもらったこともあるんですけど、そういう賞を考えていただけることも子どもにとって1つ親に報告とか自慢をする1つになってる、会話の1つになっていると思います。

それからどこの学校もやられているみたいなんんですけど、宿題の時間というのはやっぱり働いているので、家に帰ってから宿題をする時間ってのはすごくなくて、今習い事もやっぱりたくさんしているので、時間がないんです帰ってから。なので宿題をやらせてもらうっていうのは、字が汚いとかそういうのはさておいてもすごく助かっています。

そのあと遊ばせてもらっているんですが、このゲームをしたりとかっていうのもテレビゲームとかにはない遊びを、将棋だったりけん玉だったりとか、昔ながらの遊びだったり、たったロープ1本を引っ張り合うという遊びで盛り上がっている子どもたちがいたりとか、そういうのがすごく私はいいなと思っています。ゲームとかっていうのは出来上がったものを与えられて遊ぶだけなんんですけど、ロープであったり、紙と鉛筆だったりっていうのは、自分たちで考えて遊べるっていうのかな、そういうのが今少なくなっている気がするので、すごくこういうのは私はいいなと思っています。それからゲームにしても、先生将棋やろうよとか、このゲームやろうよとかっていうと、親だったらもう面倒くさいななんて家だと思うんですけど、よしやろうとやっていただいている姿を見ると、すごくありがたいなと思います。

それから体育館や運動場が広い。清洲小学校とかやっぱり人数が多いので、なかなか難しいのかもしれないんですけど、うちは子どもたちの割に体育館も運動場も広いので、体育館で毎日下着1枚で靴下脱いで走り回ってる、汗だくで走り回ってる姿を見ると、運動不足の子どもたちが今多いと思うので、すごくいいなと思います。逆にこれが今ここで言うのもあれんですけど、夏休みとか児童館にも預けるんですけど、児童館は部屋の中になつと缶詰で丸1日レゴして遊んでたとかっていうのはばっかりなので、児童館に預けている時間も体育館とか運動場が利用できたらいいなと私は心の中でいつも思っています。夏休み1ヶ月預けると、うちの子ちょっと大きいんですけど、さらに太るんですよ動かなさすぎて。何かこう体を動かして遊べたらいいなあと。難しいと思うんですけど、そういうのを

思っています。以上です。

●学校教育課長

はい。ありがとうございました。先ほど庄司様のお話の中でもありました、放課後子ども教室ならではっていうふうなことが非常に印象的だと思いますので、保護者の方と会話のきっかけになるようなことも、先生方していただけるのでありがたいと思っています。

最後に児童館の夏休み期間中の体育館の使用ということをお話がありました。こちらについてもちょっと前向きにできたらいいなというふうには考えております。以上です。ありがとうございました。

では続きまして、新川放課後子ども教室の水野先生お願ひいたします。

●水野委員

はい。新川子ども教室の水野といいます。

うちは、何にも行事がないというときは、来てから宿題をやります。これも教室に入ってきて、かばんを置いてトイレとか、お茶を飲ませて終わったらすぐ自分の宿題分を出して、もう自動的に宿題をやっています。全員がやります。1年生は大体15分ぐらいですね。2年生は30分ぐらいで3年生はそれをちょっと超えます。1年生は小さなプリント類ですので早いんですが、そのあと残りはこちらで用意しているプリントの点繋ぎとか間違い探しとか、そういう1枚のプリントがありますので、そういうのをやらせています。2年生はちょうど30分、算数だったら時間短いんですけど、国語は漢字の練習ですので、時間かかって大体約30分。それは2年生交互に宿題がでています。3年生は漢字と計算ですね、それは同時に2科目出てくるんですね。だからその分長くなるということで、そういう形でやっていて、それが終わったら、一定時間を過ぎたら皆が終わった頃ですね、自由時間ということで、流れはそんなことにしています。

遊ぶのは、レゴが多いかな。レゴとか、最近は何とかという新しいおもちゃを導入したら、名前は忘れましたけど、そういうのとかいろいろゲームできるもの持ってきて、それで遊んだりしています。やっているのは何もないときですが、何か行事があるときは、どういうときかといいますと月の第3月曜日、第3月曜日は読み聞かせということで、外部の人からのボランティアで来てもらいます。お話は、ピックレポートになるかな。その人たちです。それが資料の主な活動に、めくっていただいてその次ですね、に写真を載せてきましたが、そういう形で月1回、月曜日の第3ですね、第3月曜日の大体3時頃から30分から40分ぐらいやってもらっています。

それから、水曜日は1年生が先に来て、2、3年生のが後になりますとね、1年生のときはちょっとビデオ見せて、それが終わってから宿題やらせてますから、宿題終わった頃に2、3年生が来ます。ビデオは日本昔話を見せてます。2本あつたら2本見せてそのあと、宿題やって宿題終わったら2、3年生が来るという形ですね。それが水曜日。木曜日は体育館でドッジボールをやります。あそこは3面がありますので、3面あるんですけど、1年生が1つ、2、3年生で1つ、2、3年生が合同でドッジボールをやります。そのときは先にどっちボールやって後で戻ってきて宿題をやります。大体戻って来れば4時頃ですので、そこからまた30分ぐらいやりますと今度はお迎えの時間ってことになりますんで、早く終わった子はもうそこから自由時間ということでいろんな遊びをやります。そういうことを毎週やってるんですが、それから懇談会のときには3日間ありますが最終日にはbingoゲームというのをやります。ちょっとしたおもちゃをプレゼントで渡します。だから1学期と2学期ですね。その他はビデオを見て、1時間ぐらいのビデオ見せて、あとは自由時間という形でやってます。

それから児童クラブの交流も今年もやりまして、向こうの方が人数が多いので、前はこちらの人数が多かったから対抗試合で、チーム組んでやれましたけど、最近こちら少ないので、それぞれ2つチーム作って、AチームBチームの2つ作って、Aチーム同士を合わせ、Bチーム同士を合わせて、そこで対抗試合をやるってことでやってますんで、1年の人数多いので、とにかく新川小学校の体育館は3面ありますので、1年2年3年と分けて対抗試合ができます。それをやりました。そのやり方のことについては、一番後ろのプログラムつ

ていうかなんていいうのか実施についての様子を入れておきました。

それから3学期、今製作中なんですが、キーホルダー作りをやっています。今はまだ完成品はありません。製作途中でこれから完成させるんですけど、これ写真載せたのはその前の完成品です。例年はサインペン、カラーサインペンで塗ってやってましたが、去年今年からは色鉛筆できるやつ、色鉛筆で描いてそれを縮めて、塗ってくという形にしてます。ちょっと色合いが違ってきますけど、色鉛筆の方が描きやすいですね。細かいとこまでできますので、それを今3学期でやっています。

それから児童クラブは11月にもう1回やりたいかと聞いたら全員がもう1回やりたいとか言ってましたので、2月にまだ約束していないんですけど、2月に1回やろうかなとは思っています。そういうことです。はい。

それから人数的には去年より今年の方が少ないんですね。ちょっと減りまして、特に1年生が減ったんですよね。例年1年生が全体の中の半分でした。今まで来てたのは。それがもう3分の1ぐらいなっちゃって、1年生が減った分が全体の人数という形になってます。そういうところですね。はい。

それから資料つけときましたけど、宿題についてお願いとか、下は水筒ですがこれは新1年生の保護者会があるときに配りますが、そのときに宿題についての他に書いてあります。宿題については、面倒は見るんですけど、一応できたら言いなさいと、で中を確認しますね。忘れてる場合もですね、なんか漢字の中で一文字書いてないとか、忘れものすると指摘しながら言っています。それからリコーダーだと、音読ですね、そういうのはもうやめます。声出すやつはちょっとの方に迷惑かけるから、それはうちでやりなさいということにしています。それから下の水筒ですが、今クーラーがついてていいんですけどそれでもやっぱり足らないと思いますので、余分に持ってくださいという注意書きです。

以上ですね。はい。よろしくお願いします。

●学校教育課長

はい。ありがとうございました。

新川放課後子ども教室保護者の代表川尻様、ご感想やご意見などお願いします

●川尻委員

はい、おはようございます。新川小保護者の代表の川尻です。

まず放課後子ども教室の先生方には感謝しかありません。放課後子ども教室があるおかげで、私が仕事のときは子どもが1人でお留守番しなくていいですし、本当に助かっています。先生から説明があったように、子どもが特にキーホルダーづくりと木曜日のドッジボールの日を楽しみにしています。以上です。

●学校教育課長

ありがとうございました。感謝しかない、ご意見でした。ありがとうございます。

続きまして、星の宮放課後子ども教室の大島先生お願いします。

●大島委員

すいません。星の宮の放課後、大島博と申しますけどよろしくお願いします。

ちょっとページをめくっていただきまして、ここに書いてあることは説明を省略させてもらいますけど、見られてわかるように非常に他の学校とちょっと人数が少ないということで、予算も下の方でありますので、なかなか苦労はしております。

その辺でもう一度ページめくってください。特別活動日の来室者数ということではありますけれども、実は私のところの放課後教室はすぐ隣が教室なっているんですね。だから壁1枚で授業をやってますので、去年は3年生がおりましたので、特に注意しとったんですけど、平年は2年生の1組が来ます。だから水曜日に1年生だけのクラブの活動がありますので、そのときは特に子供たちに注意して話をしないようにやっております。そういう状況ですけども、だからもう個人懇談会のときは隣の教室での懇談会やるもんですから、すべて体育館の方に行きます。体育館へ行って、そこでちょっと早めに私たちが行って長机と椅子を出して、そこで宿題を30分ぐらいやらせます。それで終わると、次の日もまた使う

もんですから、体育館の玄関のところに長机と椅子を置いて、そして体育館で遊びます。ちょうど校長先生たちがちょうど、私が教員やってたときとときに関わった人ばかりですので、非常にそういう点では有利な点がありまして、自由に体育館とか運動場を使わしていただいておりますんで、そういう点ではありがたいなと思っております。就学時健診ときにはその体育館も使うもんですから、当然放課後の教室も使えませんので、3階の特別教室を2つ使って、そして活動をしております。その辺そういうことをやるのはちょっと不便な面もありますけども、だけど一応学校との協力関係は非常に十分なっておりますので、そういう点ではありがたいです。

学校で実はあの、1年生2年生3年生が運動場におりますね、そのときに私が出ていって、ほんと担任の先生も出てくるもんですから、そのときなんかちょっとあったときには必ず私の方に連絡が来てくれますので。また逆に今度逆で、放課後子ども教室でちょっといろんなことが話を聞いて、これ担任の先生に伝えなきやいけないなというときには、担当の先生に伝えさせていただいておりますので、そういう点での連絡事項は上手くいってるなとは思っております。

それでじゃあちょっと説明簡単にしますけど、活動の状況は見ていただければすぐわかるようになりますけど、とにかく最初静かタイムということで30分。当初は20分でやつてたんですね4、5年ぐらい前は。だけどそれではちょっと、子どもたちの宿題がきちんとできないので、最低30分ということでやります。それ30分過ぎてまでやってる子は、ちょっと縁の方へ行って、ずっとしっかりやっています。3年生の子は特に漢字が多いもんですから、漢字の書き方は本当にね丁寧にね、自分でも自分の子どものときとは全然違うなという、そういうのがありますけど。ただちょっとね、苦になるのがね、筆順がなかなかねできないんですね。だけどね、どうしてもね仕方がない子がいるんです。なんかかといふと、左利きの子が結構いましてね、左利きだとね筆順はね、その通り書くとね書きにくいんですね。左から右へやるもんですから、自分の心臓にこうくるから、どうしても姿勢も悪くなるし、姿勢が悪いと先生に注意されるもんだからこういう感じになっちゃうんだね。これも仕方なくこう握ってきゅって書く、そういうふうになりますので、そういう点ではちょっと気の毒だなと思って、私も実は左利きだったんですけども、私たちの時代の時はすべてみんな右に直しました。今はあまり直さないという、そういう状況ですので、かえつて書くのがね、難しいなという感じです。

だけどその割にきっとね、自分が子供と日よりもみんな上手だなという、そういうような気持ちがありますから、多分家庭でも一生懸命やってるんだろうなという気がします。それだけね。私たちももっとしっかり子どもを自由に伸ばさなきやいけないなという気持ちちはあります。

星の宮の子は非常にいいことが1つあるわけですね、何か言うとまず1つはね、場所によつてね、ころっと人格が変わることあんまりないんだよね。みんな地で出します。これはすごいと思います。すごくいい面だなと私は思つています。それからもう1つはね、学年の差がないということなんです。去年と1年生がすごく少なかったからちょっと変わってきたんですけど、大体が夏休みのちょっと前に主導権握るのが1年生。何でかというと人数が多い。だから去年と今年もちょっと人数少なかったもんで3年生のもう年代というのはすごく人数多いもんで、ちょっと今までの伝統が壊れたかなと思います。来年になるとまた1年生も増えてくると、また1年生が天下を握るなと思ったんですけど、4、5、6年まで来るということになり、どうしてもねまた雰囲気が変わるなと思っております。

じゃあちょっとこれページめくってください。自由タイム、宿題が終わつてから自由タイムでありますけれども、その時に、やっぱりこちらの方を、何かいろんな工作をやらせたいということで、その下に括弧に手づくりコーナーってありますけど、4月5月と、それから6月7月で、見ていただけますとわかりますけどこちらの方で工作の準備をして、それをやらしております。だけどこれはやりたくない子もいますので、強制はしません。大抵は最初やりたくないからといって遊んでますけども、どんどん作るのを見てみると、やっぱりりますっていうことで入つてますけども、そういう形でのコーナーでありますんで

10月11月から12月まで作っております。本当に最初の表紙の写真は、これはこの12月に作ったしめ縄です。この支援員の人たちがなかなかそういう工作をきちんと考えてきてやつていただいておりますので私も助かっております。これにおもちゃなんかも作って、放課後に持つててくれるもんですから、そういう点でも助かっております。後の文章は見ていただければわかると思いますので、お願ひします。

またページをめくってください。体育館での遊びというところあります。これはですねいわゆる月にですね、3回は体育館使わせていただいております。結構空いてるときにやなんか子どもたちはどうしてもね、外に遊ぶってあんまりないんだね。遊ぶ時期はたしかに遊ぶけれども、人数的にはやっぱり昔から比べると随分減ってますので、なるべく体育館や運動場を使わせていただいて、自由にやつてます。大抵は走るんですけどもね、そのあとは鉄棒やったりブランコをやったりいろいろやりますけども、もう1年から3年までが適当にグループ作って、やつてますので、学年ごとのグループじゃなくて混合のグループだもんですから、そういうことは遊ぶ中でいろんなことが私は勉強できるなということで、奨励はしております。

その下、夏祭りとありますけど、これはもう体育館で懇談会のときにやつております。大体ヨーヨー釣りとかおもちゃすくいとかダンボールのキャタビラ競争とか、ここに書いてある通りですけど。お母さんが迎えに来たときに小さい子も一緒にやらして、やっていただいてもらって、風船などを贈っておりますので、非常に小さい子が喜んでおります。最後5番の運営の課題ですけれども、最初に話をさしていただいたというふうに一応先生たちとの関係はうまくいってますので、いろんな情報入ってくる、できてますのでそういう点ではお互いにいいなというふうに考えておりますけれども、よくある方でカードを持ってこなかつたということがありますので、とりあえず担任の先生からも報告をいただいたときには必ずこちらから電話しにいって、なかなかお母さんたちも働いてるので連絡がつかないんですけど、留守電とかそれから代わりに電話出ていただいた方に話をして、一応もし時間、何時頃来るんだというその連絡だけはしてくださいという、それからとりあえずここに預かっていますので、安心しててくださいという、そういう形でやっております。

それからあとはもう忘れ物とか落とし物が非常にあります。特にそれから今年多かったのは人の物を持ってたという間違いで、そういう場合が非常にありますので、教科書がなくて大騒動しましたね。ありますけれども、なかなかそれの本人にわからなくて、本人毎日2冊持つて気が付かなかつたというそういうこともありました。

それから最後にさっき他の学校の先生もお話をさせていただきましたけど、カーペットのクリーニングありがとうございました。掃除機もうちちは壊れて全く役に立ちませんでしたけども、本当にありがたいと思います。また今後ともよろしくお願ひします。以上です。

●学校教育課長

ありがとうございました。星の宮放課後子ども教室の保護者の代表小川様、ご感想お願ひします。

●小川委員

星の宮小学校3年生の保護者の小川と申します。よろしくお願ひします。

先ほど大島先生言ってくださいましたように、本当に異年齢他学年との交流がすごく、うちの子3年生なんですけど、1年生の方と一緒にずっと遊んでたとか、今日は2年生の子と遊んだとか、やっぱりそこの放課後教室で仲良くなつた子と、普通の学校の放課でも交流してたりとかっていうふうに、すごくなかなかですね、家に帰ってきて公園で遊ぶときは違つた交流の仕方ができつてとてもありがたいと思ってます。あとはそうですね宿題もしっかり見ていただいているので、あと音読もちょっと私が家でやると、私自身はちょっと厳しく評価してしまうんですけど、放課後の先生はいつも花丸をくれるっていうふうに、こんな花丸くれるんだよって言って、ここは上手だったってとても褒めてくれるっていうふうで嬉しそうに話しています。最初に大島先生が、1年生からずっとお世話になってるんですけども、仕事じゃない日でも子どもが来たいっていうんだったら来ても

いいですよっていうふうに仰ってくださって、本当に子どもが行きたいっていうときには行かせてるっていう状態なんんですけど、1年生のときは本当に毎日も帰ってきてもいいよっていう日でも、いや今日は放課後に行くから今日も放課後に行くからっていうふうで、楽しく行かせていただいてます。

あとはもう月に何回か体育館で遊べる日なんですけど、それもすごく楽しみにしてるんですけど、放課後教室の扉の前に、今月の体育館の日は何日だよっていうふうに掲示をしていたいただいてるんですけども、3年生になってちょっと6時間授業が増えて、放課後に行かない日がちょっと増えてきて、本人も私も学校に行くことも、お迎えに行くことも少なくなったので目にすることが減ってしまって、いつ遊べるんだろう、今日なのかな今日なのかなっていうのが増えたので、もし可能であれば昇降口とこっちの方にも、今月の放課後教室の体育館もこの日ですっていう掲示がしていただけると遊びに行きやすいな。

●大島委員

放課後教室の前にはありますけど、そうなんですね。

●小川委員

わざわざそっちまで行かないみたいで、見ておいでとは言うんですけども。

●大島委員

わかりました。教室で貼っておきます。

●小川委員

すみません。はい。お願ひします。でも本当に楽しく行かせていただいて、下の子も今度1年生になるんですけども、そのお姉ちゃんが楽しそうにしてるのを聞いて、見て聞いて、行くのを楽しみにしてるぐらい楽しい場となっているみたいなので、これからもお世話になりたいと思います。よろしくお願ひします。以上です。

●学校教育課長

はい。ありがとうございました。昇降口の掲示の件でよろしくお願ひいたします。また来年1年生、新1年生が入って来られるから、楽しみにしてお待ちください。

続きまして、桃栄放課後子ども教室の吉田先生お願ひします。

●吉田委員

はい。失礼します。桃栄放課後子ども教室吉田です。よろしくお願ひします。

それでは資料に沿ってお話をさせていただきます。最初、登録者数ですが、昨年よりうちは6名ほど減っております。さっきもはっきりと一番多い学校は本当に、うちは楽させていただいていると思いますけど、このぐらいの人数です。参加者数ですが、4月から12月の1日当たりの平均参加者数から計算してみたら、12人。昨年とこれはほぼ同じでした。めあては簡単なことで、笑顔で来ていただいて、笑顔で返そうというのが私たちの思いです。そのため私たちは安全面での見守り、学習や遊びでの支援から、感染予防などの活動を行っております。そんな中で子どもたちが充実した時間を過ごして、笑顔で帰ることを目標に活動を進めています。

それから2ページをご覧ください。1日の活動の状況についてですが、ここは皆さんよくご存じのことですので簡単に。入室に始まって、学習のところまでいきます。学習については基本的には1年生は20分、2年生は25分、3年生は25から30分の学習時間を取りています。

学習時間はまず宿題をやって、そのあと時間が余ったら、読書してみたりプリントをやってみたりという形になっています。そのあとが、子どもたちが楽しみにしている自由時間になります。自由時間の1つの過ごし方としては、折り紙工作あるいは読書があります。2つ目としては3ページ目になりますけれど、ゲームなどがそれぞれ2ページ3ページに、その時の様子を一部写真で表ささせていただきましたので、またご覧ください。それから、退室になります。迎えにみえた保護者の方に出席カードを返却しつつ、見送りします。もし何か報告事項があった場合は、必要に応じて連絡をさせていただいておるという状況でございます。1の過去の状況については、以上です。

続いて4ページをお願いいたします。特別日の様子についてです。特別言うのは1、2学

期の個人懇談会の日と考えてください。この日は時間も長くなりますので、普段の活動の前に体育館で過ごします。ビデオを利用したりすることがあります。写真はその時の様子を、また載せさせていただきましたので、ご覧ください。

5ページをお願いします。5ページ、成果と課題です。1、今年度も市教委はじめ多くの皆様のおかげで順調に運営することができました。2つ目、平均の参加者数は昨年同様、多くはなりませんでした。めあてについては、子供の普段の様子から見てると少なからず達成できていたというふうに思っております。3番目、今年度外部講師をお願いして、初めてけん玉教室を実施しました。多くの子どもたちは参加してくれて、自由時間で楽しむ姿が見られました。また、1年生対象にスタッフによる読み聞かせを始めました。4番目、感染予防の面では今年度も手指消毒や除菌での清掃なんかをきちんと行って、感染予防に努めることができたと思っております。

5番目、次年度の4、5、6年用の追加予算のおかげで、高学年用の本と玩具を購入することができました。ありがとうございました。次年度もさらに購入できるような予算があれば、増額があればうれしく思います。6番目、先ほどからお話てる次年度からの部活動が減るということで、運動場や体育館が利用できるような状況が増えるんじやないかということでちょっと教えていただきたいのとお願いがあり、来年からそういうことが始まることで、新しく私たちも今まで体育館を使ってても、普段平日の時期は使ってないんです。ただ、これが1年間通してなってくるとそういうわけにもいかないので、スタッフで新しく始まることに対しての気になることを話し合ってみました。あとで、利用日程についての打ち合わせはどうなんだろうと。いとしては、遊び道具は借用できるのかと、特に体育館なんかは、ボールがたくさんありますので、ああいったものが借りられるのかどうかの方がまだ確認できないと。借用できなかった場合はどうするか。う、怪我についてです。基本的に教室の中にいるときはほとんど怪我させるような状況にはならないんだけど、そういうわけにも今回から来年ですね、いかなくなる可能性があるもんだから、簡単な処置ができたとしてもできない状態のときはどういうふうにしようかと言うようなこと。えとしてはスタッフの見回りの方法、うちの場合は3人ですので、外の方に行きたい方が当然出てくるから、中に残す人が1人に一緒に外に出て、じゃあ外でただ見てればいいのか一緒に遊ぶのかと。ただ、私たちはもう歳なんて子どもと一緒に遊ぶと思うがやれないもんだから、どういうふうにあって、子供の安全を管理するかなというような部分を問題にしており、今現在、先ほどから聞いてるともうすでに活用してる部分がある学校があるもんですから、そういうところからは情報として教えていただけるとありがたいです。また、市教委には体育館や運動場の利用について、学校と打ち合わせる機会が設けていただけるとありがたいと思います。

今後も安全安心な居場所で子どもたちが充実した時間を過ごせるように私たちも進めていきたいと思っております。ご協力をよろしくお願ひいたします。以上でございます。

●学校教育課長

はい。ありがとうございます。利用日程の関係についてはまた協議する場を設けたいと思います。

続きまして、桃栄放課後子ども教室の保護者の代表井藤様、ご感想やご意見などお願ひいたします。

●井藤委員

はい。桃栄小学校保護者代表の井藤久美子と申しますよろしくお願ひいたします。まず初めに今日は大変有意義な会議に参加をさせていただいております。ありがとうございます。どの学校の先生方もですね、子どもたちが日々安心安全に過ごせる居場所というところにご尽力いただいているというところで、大変感謝をいたしております。また桃栄小のですね、吉田先生、堀部先生、他の指導員の方にもいつも感謝をしております。我が家はですね、小学校3年生の双子の男の子がいつもお世話になっております。兄弟は他におりませんので、同学年同士の兄弟ということで、放課後子ども教室を利用させていただくにあたり、異学年との交流というのは大変ありがたく思っております。やはり上の学年の子

が今は現状おりませんけれども、下の学年のお子さんと関わる中で、思いやりを育んだりですとか、小さい子への接し方というところも学んでおり、日々子どもたちの成長になっているという実感をしております。

現状ですねお世話になっている中で、不満ですか要望などは特にございません。子どもたちもとても楽しく利用させていただいておりますし、放課後教室の中で工作やらせていただいたものを持ち帰り、家でまた自分でアレンジをして作っていましたとか、クリスマスのリースも玄関に飾っていましたとか、大変その放課後で学んだこと、培ってきたものを家庭でおいても楽しませてもらっております。

ただ現状はそういった対応なんですけれども、来年度から4年生5年生6年生も利用されるというところで、先ほど吉田先生のお話の中にもあったんですけれども、運動場ですか体育館の利用を含めて、ちょっとその活動する場がですね、もう少し広めに取っていただけるのだろうかとか、その活用頻度ですね、上げていただけるのだろうかというところは不安、まあ不安というかそこまでではないんですけど、どうなのかなという思いはあります。というのもですね、2年生の頃に、これは放課後子ども教室の時間ではないんですけれども、在校中にですね20分放課の時間に、次男の方が運動場で鬼ごっこをしておりまして、他の学年のお子さんはボールを追いかけて、ぶつかった衝撃で転んでしまったんですね。そこで頭をぶつけてしまって、嘔吐を繰り返し救急車で運ばれました。たとえばこれが放課後の時間の中で、運動場の利用もしくは体育館を利用している中で、そういう場合が今後高学年のお子さん体格差もあります、力の差もあります。そういうことがもし仮に起きた場合に、先ほど指導員の方3名普段あたっていただいておりますけれども、じゃあどなたが救急車で行くのかとか、たとえばそういったところのマニュアルとまでは言いませんけれども、どのように対処していただけるのかというのが、他の学校の方もそうだと思いますけれども、利用者が増えればそういった危険をつきものと思いますので、その辺りを今一度改めて皆さんでご確認をいただけすると、保護者としては大変安心できるようになるかと思います。

そうですね。あとは普段過ごす教室もですね、桃栄小学校は現状他の学校に比べると人数も少ないと思いますので、教室も割となんでしょう過ごしやすいというか、落ち着くぐらいの広さと申しますか。そういうところで活動させていただいているようなんですが、これが高学年が入ることで、体も大きい子が入ってきますし、他の学年、小さい学年のお子さんをお持ちの保護者の方もですねそういう怪我が、とかいじめが、とかつていいくね、ご心配もあるということでしたので、その辺りも含めて、活動のできる教室を増やしていただけるのかどうかとか、そういったところも含めて、学校との連携ですか、相談、協議も必要かと思いますけれども、その辺りもまたご説明いただけすると安心できるかなと思います。以上です。ありがとうございました。

●学校教育課長

ありがとうございました。安心安全に過ごせる場の提供というのは私どもの使命だと思っております。当然4年生5年生6年生が増えると、今の教室が手狭になるところもございますので、すべての学校のすべての校長先生とお話ををして、使える教室は使わせてくださいというような話はしておりますので、今後詳しくどこの教室でいつやるのかとか、体育館はいつ使っているのか、基本的に体育館もずっと使っていいよっていうふうにおっしゃっていただいているので、もっと詳しいところを詰めていきたいと思います。

先ほどの怪我の対応とかつていうこともありますので、これからもっともっと詳しく詰めていかなければならぬことがたくさんあると思いますので、よろしくお願ひいたします。ありがとうございました。

続きまして、春日放課後子ども教室白鳥先生よろしくお願ひいたします。

●白鳥委員

春日放課後子ども教室の白鳥です。よろしくお願ひいたします。資料に沿って説明させていただきます。

1、指導体制。春日放課後子ども教室は、指導員7名、女性のみで行っています。基本的

には毎日5人体制で、イベント開催日は7人体制で指導を行っております。

2、月別来室者数。今年度は登録数が。1年生が77名、2年生59名、3年生56名、全体で192名でした。昨年度より17名多く、1年生の登録者数の増加分が全体の増加に繋がりました。2年生3年生の登録者数はほとんど昨年と変わりません。7月の全体の平均来室者数が102名となっておりますが、個人懇談会の来室人数が3日間とも130名近くなりましたので、平均すると100人と多くなってますが、通常には約85名ほどでした。5月6月7月9月10月と平均80名ほどが放課後教室に参加していたんですけど、11月ぐらいからだんだん、今1月現時点では65名ほど程度が参加しております。

3、活動の状況。大体他の放課後教室さんと同じだと思いますので、割愛させていただきますが、春日放課後子ども教室は、運動場または体育館を自由に毎日利用させていただいて、子どもたちがいつも体を動かすことが楽しくて参加しているという子が多くいます。参加人数がとても多く3学年一緒に教室を利用することができます、学年別に時間差で宿題の時間を設けたりしていました。宿題をしない学年は外か体育館で先に遊び、30分後に入れ替わりで宿題をしました。しかし、雨で外が使えず体育館も授業や部活動で使えない日は仕方なく教室で過ごしていましたが、ものすごく教室がパンパンで大変でした。どうしても教室のみで過ごすことは無理だと判断した日が2日ほどありまして、学校の教室を快く貸していただきました。大変助かりました。ありがとうございました。来年度の春日小学校の1年生も、本年度並みの在籍人数になりそうなので、放課後の1年生の参加人数も多いと予想されます。また、高学年も参加するようになり、教室のみで過ごさなければいけない日を、どう過ごしていくかが課題です。

4、月別活動内容。資料に記載の通りになります。いろいろ子供たちが楽しく過ごせるように考えて指導に当たっております。今年度も例年通りPTA総会や個人懇談会など早い下校の日はいろいろとイベントを行いました。しかし本当に参加人数が多く、当日やりきれなかつたり、細かく十分に指導できなかつたと感じることが多くありました。通常の日もいろいろとものづくりなど提案してやっていたことも手が回らずに、昨年度よりできていないなと感じております。イベントのやり方など、来年度からは少し変えていかないといけないかなど考えております。

5、成果と課題。今年度も春日放課後子ども教室では、多くの子供たちが笑顔で参加し、学年を超えた関わりが自然に生まれる居場所づくりを目指し、運営を行ってきました。しかし、本年度は子どもの参加人数が多く、宿題や体育館遊び、イベントなどなかなか全員一緒に行うことができません。学年別で行ったり、密になり過ぎないように、場所や時間を制限することが増えてしまいました。自由に子供たちの要望に応えてあげたくても、どうしても場所やスタッフの人数が十分でなく、活動の内容に制約が生じたり、活動の見守りや個人対応ができず課題となりました。来年度から6年生まで参加できることになり、活動場所の改善、人員の確保、活動内容に工夫が必要だと考えております。春日放課後子ども教室も1月に児童クラブの1年生と、体育館で一緒に遊びました。昨年度も1度しか交流することができず、増やしていきたいなと考えていましたが、今年度も結局1度きりしかできなかつたので、子どもたちの楽しみの1つになるよりもう少し回数を増やして、本当に児童館の子たちは目の前で運動場のすぐそばに児童館がある。放課後の子どもたちが楽しく遊んでいるのを窓から見ると哀想な状況なので、もうちょっと交流を増やして、児童館の子たちとも一緒に遊んでいきたいなと思います。

学校の花壇をお借りして、今年は花を育てる試みをしました。お花摘みや押し花、ドライフラワーにして制作に利用しました。写真立てやしめ縄に飾りとして、とても素敵な作品ができました。来年度も野菜とかとも育ててみたいなど、ちょっと私のやりたい趣味もあるんですが、そういうことも一緒にやっていきたいと思います。

最後に、来年度から6学年が参加する新しい体制になっていきますが、異学年交流を大切に、友達同士で協力する姿や、思いやりのある言動が多く見られる放課後教室になるように努めていきたいと思っております。今年度も保護者の方からたくさんのご寄附をいただきました。皆様のご協力にこの場で感謝申し上げます。以上です。ありがとうございました。

した。

●学校教育課長

ありがとうございました。

春日放課後子ども教室の保護者代表黒木様、ご感想やご意見などお願ひいたします。

●黒木委員

はい。春日放課後教室保護者代表の黒木です。よろしくお願ひいたします。我が家は小学校4年生の女の子と真ん中、今、小学校1年生の男の子、そして下に年少で、女の子3人いるんですが、上のお姉ちゃんの方も去年まで3年間ずっと放課後教室にお世話になりました。現在今小学校1年生の息子がお世話になってるんですが、息子自体が年長のときに発達障害でちょっと診断を受けまして、現在通常教室で一応学んではいるんですけども、やっぱり他の子の何ていうんですかね、子どもたちとの距離感やコミュニケーションの取り方がちょっとやっぱり他の子より上手くなくて、私もいろいろ教育で悩んでいたことも多いんですが、放課後教室に行かすとやっぱり皆さん女性っていうこともあって、先輩お母さんばかりなので、すごい温かい目で見ていただいて、1つでもすごく上手にできたこととか、息子は工作が好きなんんですけど、工作をちょっと作ってみたりしたらすごい褒めてくださって、それがすごくやりがいに繋がってて、家でももう工作が、意欲がもう爆発しちゃって毎日のように作ってるぐらいで、やっぱり自分が頑張って家でいろいろやらせてもできる範囲が限られてるんですけど、放課後教室に行くと、やっぱりいろんな大人、いろんな先輩、子どもたちの経験を目で見たり、一緒に体験することで、やっぱり全然経験値が変わるなっていうのはすごく今感じてまして。具体的に言うとやっぱ、上の4年生のお姉ちゃんが3年生のときに放課後教室の先生に編み物を教えていただいた。私はすごく苦手で、手芸系が全然駄目だったんですけど、編み物とあと針の使い方などを教えてもらったら、今年はクリスマスに娘のマフラーを編みたいって言って、去年学んだ知識を生かして自分で編んでプレゼントしてたんですね。そういうのって我が家ではできないことですし、教えてって言われてもちょっと正直苦戦して、子ども3人もいるし、娘にずっとそういう時間を費やすこともなかなか難しいんですけど、そういうなんかことも教えていただいてすごく助かりましたし、真ん中の息子だと、幼稚園まで虫の捕まえ方で、虫には興味あったんですけど、どうやって網で取った虫を手で掴んでかごに入れるのかができないで、でも私は虫が苦手で触りたくないって言って、いつも虫取りはしたいのに、どうやつたらいいかわからないってなってたんですけど、放課後に行かしていただくと、虫取りが上手な先生もしくは3年生のお兄ちゃんとかにこうやるんだよとか、こうやってとったら虫もなんか何ですかこううまく取れてかごに入れるんだよとか教えてもらって、そこからもう虫が大好きなんで夏休みはカブトムシを捕まえて飼ってみたり、今は何か放課後教室で捕まえた幼虫を、なんか何の幼児かわからぬで1回育ててみると、玄関にずっと水をあげてなんかいつ出てくるかなあととか観察してみたり、やっぱりなかなか何ていいうんですかね、家では経験できないことをたくさんしていただいて、息子娘の成長がすごく感じられていまして、すごく助かっております。はい。なのでそういう今後も行かせていただいて、そういう経験をどんどん積んでいって欲しいなと私は感じております。

先ほどからもたくさん皆さんからお話をあったように来年度から6年生まで利用ができるのはすごくありがたいですし、私の娘もやったって言ってもう来年絶対登録してねっていうお話を家でもしてるんですが、やっぱり今の現状見てても先生がとてもなく忙しそうで、もう毎日なんですが、運動場で男の子たちが走り回るのも先生見るし、中では工作、女の子たちの工作とか手芸とかもすごい頑張っていろいろイベントもしてくださって、子どもたちはすごい楽しそうんですけど、これを6年生までです。本当にできるのかっていう、私もちよつと不安がありますし、先生は先ほどお話をあった通り、雨が降った日とかは、本当に教室がもうぎゅうぎゅうで、1人、もう机も詰めながらみんな宿題のノートもぎりぎりでなんかこう隅でやりながらやってるので、そのやっぱ場所の確保っていうのはやっぱ一番、早期にちょっと課題としてあるのかなというのを感じております。なので、本当に来年度ってもう4月からっていう実施なのでもう迫ってるので、早い段階で解決して

いただいたて、4月から子どもたちが楽しく過ごせる環境整えていただけたらなとは思っております。以上です。

●学校教育課長

はい。ありがとうございました。場所の確保というところで、この4年生から6年生まで受け入れるっていうことが決まるちょっと前に、すべての校長先生と面談をさせていただきました。ある程度この教室は使わさしてくださいっていうような話をして、了承を得ておりますので、そこは安心していただいてもいいのかなとは思っております。あとスタッフの問題なんですけれど、これも現のスタッフではとても足りませんので、今絶賛募集中です。ホームページにも載っておりますので、お母様方のお友達お知り合いの方でやってみたいわっていう方がお見えになれば、どんどん市役所の方に連絡していただきたいなとは思っております。そうやって体制をちょっと整えて4月から臨みたいなとは思っております。

それでは小学校の代表として清洲小学校の山本校長先生お願ひいたします。

●清洲小学校長

はい。失礼いたします。毎日毎日80人90人100人と子どもたちがお世話になっております。清洲小学校です。今お話を聞かせていただきまして、本当にイベントだとか工夫されて各放課後子ども教室が運営されていること、それで異学年交流がされていることで、本当に子どもたちの放課後の居場所になっているんだなっていうふうに感謝申し上げます。次年度また6年生までになるということで、学校の方もいろいろ相談しながら、できることは協力しながらやっていきたいと思います。

●学校教育課長

はい、ありがとうございました。ただいま山本校長の方からも学校の方も協力できるところは協力するということ温かい言葉をいただきましたので、皆さんご安心してください。

続きまして、児童保育課の堀江課長補佐より、何かご意見等ありましたらお願いします。

●児童保育課課長補佐

はい。児童保育課の堀江と申しますよろしくお願ひいたします。児童保育課につきましては、児童館の運営をさせていただいておりまして、その中で児童クラブ、こちらも実施させていただいております。ではまずお話をさせていただきたいなと思います。放課後子ども教室の先生方につきましては、日頃から児童クラブのご協力いただきまして誠にありがとうございます。

では児童クラブについて少しだけお話をさしていただきますと、やはり子ども教室の方も増えておるという状況で、児童クラブ、こちらの方もニーズの方は増えておりまして、登録者数については、年々増加している状況であります。ただ、何とか待機児童を出すことなく皆さん登録していただき、受け入れをさせていただいている状況ではございます。その中でもですね、教室様がお休みとなる4月の頭だったりですね、夏休み、こういった長期休暇のときには、児童クラブへの登録、こちらが集中するという状況ではございます。その状況の中で、先生方には児童クラブのお手伝いをしていただいておりまして、大変助かっております。本当にありがとうございます。ふた月も過ぎますとまた春休みがやって参ります。その時にはですね、また児童クラブの方に多くの子どもがやって参ります。今後とも引き続き、先生たちにはご協力をいただきたいと思いますので、その際、児童館の館長の方が直接お願いに上がると思いますので、ご協力をいただきたいと思います。

こういった状況を、登録者数が増えとる状況の中で、清洲児童センターの方が夏休みになりますと、どうしても児童館の中では入りきらない状況ということで、夏休みの間、子ども教室の方をお借りして運用しておるという状況で、8年度、来年度につきましてもこの状況は変わらないと思いますので、また、お借りすることになると思いますのでそちらの方のご協力もよろしくお願ひいたします。

本当に願いばかりというところなんですけども、先ほどからもお話を、放課後子ども教室の方からもお話をさせていただいておりますが、児童クラブとの交流についてでございます。

子どもたちがですね、多様な体験、遊びができるということで、子ども教室の子どもたちと、今年度も交流の方、実施をさせていただいたところであります。児童クラブとしては、すべての児童クラブで年に1回は実施したいなということで、積極的にですねこちらからもお声がけをさせていただいているところではございます。先ほどお話をあったように、児童クラブの方、児童館の中では体を動かすことが少し難しい状況の中で、体育館使っていただきましてドッジボールなどをやっていただいている、やっぱり子どもが伸び伸びと遊ぶことができるっていうのは、とてもいいことだと思っておりますので、ぜひ回数を増やしていただければなとは思っております。

保護者の方から先ほどあったように、夏休みのときにですね、先ほど学校教育課の方も体育館の利用はしてもいいよということで前向きにいただきましたので、そちら館長にも伝えさせていただいて、できる限り行けることがあれば体育館の方利用させていただきたいなあとは思っております。

ちょっと交流の方に戻りますけども、先生方には大変調整、こちらの方でご尽力いただいておると思います。どうしても学校の隣接しておる児童館とは違うところがいくつかありますので、そういったところで、児童クラブの方も移動やそういったところで少し尻すぼみといいますか、どうしても多くをっていうことが難しい状況でありますけども、やはりこれは続けていきたいと思いますので、よろしくお願ひいたします。またお互いにですね、どのような遊びをしているかとか情報交換も児童館の職員からは、そういうことをしておるよということを伺っております。

来年度から子ども教室の方も6年生まで拡大されるということですので、運営方法等につきまして、各児童クラブとお互いに協力できる部分があるかもしれませんので、児童館側としましてもぜひ協力させていただきたいと思いますので、今後ともよろしくお願ひいたします。以上となります。

●学校教育課長

はい。ありがとうございました。では時間もだいぶ来てますので、議題（2）令和8年度清須市放課後子ども教室について事務局から説明させていただきます。

●事務局

学校教育課の林です。令和8年度放課後子ども教室について説明させていただきます。着座にて失礼いたします。

現在実施しています8ヶ所の放課後子ども教室は、令和8年度から対象学年を小学校6年生まで拡充します。なお、開設時間及び利用料は変更ありません。令和8年度の新1年生の利用開始日は、給食開始日の4月20日月曜日です。また新1年生向けの利用申請の募集案内は、3月上旬に保育園等を通じて保護者の方に配布を予定しています。申請方法は、今年度と同様に「清須市電子申請・届出システム」から利用申請の登録をしていただきます。この電子申請・届出システムは、市への申請・届出等の行政手続きを、インターネットを利用して行うシステムです。電子申請が困難な保護者の方は、学校教育課窓口で申請していただきます。新1年生向けの利用説明会は、4月13日月曜日から4月16日木曜日の間の午前10時から11時に、教室ごとに保護者の方を対象に実施を予定しています。参加できない保護者の方に対しては、学校教育課窓口で職員が説明いたします。

次に、新2年生から6年生の利用開始日は、4月10日金曜日です。募集案内は、3月上旬にテトルを通じて保護者の方に配信いたします。また、新規利用者向けに、学校教育課職員による説明会を市役所にて実施いたします。実施時期は、3月23日月曜日から3月27日金曜日の間を予定しております。併せて、現在放課後子ども教室を利用している方には、放課後子ども教室に案内を掲示し、周知をはかります。申請方法は、新1年生と同様です。なお、新1年生及び新2年生から6年生の募集案内については、広報3月号、市ホームページでも周知をいたします。

続きまして、児童館で実施している放課後児童クラブとの連携についてです。文部科学省・こども家庭庁より多様な居場所づくりの推進が示されており、令和8年度も放課後児童クラブとの連携により、全てのこどもが放課後を安全・安心に過ごし、多様な

体験・活動が行える居場所づくりの推進に努めていきたいと考えています。指導員の皆様におかれましては、この趣旨をご理解していただき、令和8年度も放課後児童クラブとの連携について、引き続きよろしくお願ひします。

続きまして、施設整備及び備品についてです。対象学年を小学校6年生まで拡充することに伴い、利用人数増加に対応できるよう、運営場所について調整を行っております。古城放課後子ども教室については、新たに教室の床にカーペットを貼り、ランドセルロッカーを設置する準備を進めております。清洲放課後子ども教室は、教室を拡張する工事を行う方向で調整中です。その他のスペース不足が見込まれる教室については、新たに既存の空き教室等を利用して運営する予定をしております。

備品につきましては、今年度各放課後子ども教室を巡回し、ヒアリングを実施いたしました。高学年の受入れが可能な備品・消耗品の準備を、指導員の方々と調整中です。

また、運営体制についても、利用人数増加に対応できるよう調整中です。

指導員の皆様におかれましては、今後とも引き続き子どもたちの安全を第一にご指導よろしくお願ひします。以上でございます。

●学校教育課長

続きまして、清須市放課後子ども教室の利用に関するアンケート結果について事務局から説明させていただきます。

●事務局

学校教育課の嶋中です。それではお手元の資料のカラー刷りの放課後子ども教室の利用に関するアンケートをご覧ください。令和7年9月8日から22日の間に、小学校に在籍する1年生から5年生の保護者様にご回答をいただきました。回答者数は1318名。回答率は、40.3%でございました。

ページをおめくりいただきまして、問い合わせ3をご覧ください。問い合わせ3、令和8年度は放課後子ども教室へ登録する予定ですか、の質問に対しまして、登録すると回答された方が53%でございました。また、問い合わせ4で利用を予定している頻度をお答えください、の質問に対しましては、毎日や週に何回か利用される方が多く見られました。また、中には数ヶ月に1回という方もいらっしゃいました。状況によって安心して気軽に利用していただける場所になっているということがわかりました。

ページを1枚めくっていただきまして、参考3、令和8年度に放課後子ども教室へ登録すると回答した高学年の人数の内訳でございます。こちらはアンケート結果の実数でございます。現段階で高学年の方で利用を予定されている方がすでに多く見られることがわかりました。

問い合わせ5、利用を予定している曜日などお答えください、の回答で、曜日ごとの利用に偏りがなく、ほぼ同数の結果となりました。

ページをおめくりいただき、問い合わせ6、何年生まで利用したいと思いますか、の問い合わせましては、6年生まで利用したいと回答された方が72%と、もっとも多く見られました。また、問い合わせ7で放課後子ども教室に望むことは何ですか、の回答では、友人と過ごして欲しい32%。安全な居場所となって欲しいが38%となり、友人と安全に楽しく過ごして欲しいという保護者の意向がわかりました。

ページめくりまして、問い合わせ8、放課後子ども教室でお子様にどのように過ごしてほしいですか、の問い合わせましては、宿題、工作などの創作活動、遊びやゲーム、運動がほぼ同じ割合で回答されておりました。問い合わせ9、放課後子ども教室へ登録しない理由を教えてください、の回答では、すでに放課後児童クラブを利用していると回答された方が一番多く見られ、お迎えの時間やお仕事の状況によってサービスを選択されておられる状況がわかりました。また、子どものみで放課後を過ごすことができるという回答や、習い事があるという回答が次に多く見られ、お子様の成長に合わせて登録をされておられるということがわかりました。

最後につけております3ページにつきましては、自由回答の内容を参考として掲載しておりますので、ご参考にご覧くださいませ。結果の報告は以上でございます。

●学校教育課長

ありがとうございました。今までのところで何かご質問等ありましたら。

●大島委員

すみません。毎年ですね。放課後も始まって数ヶ月経ってからまだ未納の方がみえるという報告があるんですけど、どこでいつ、そのお金も徴収しているのかということはちょっとこちらはわからんもんですから、なんでもう少し早めに、例えばまだ未納の方が、ありますよと連絡があれば、こちらの方からもね、話をしてできますけども、大抵の方はその、いや私払ったと思うけどっていうのが多いんですね。ほんで、もう一度確認してみても、いや、払ってませんよって言われても、何回も言うのはねこちらも非常に苦しいもんですから、なるべく早く集金をさしていただいて、そして払ってない方が、私たちの方に連絡していただければ直接親に請求しますので、その方がかえっていいと思いますので、何かね、数ヶ月経ってから言っても、いや、もう大抵その半券をね、もう例えば5000円とかそれだったらみんな持ってるけども、500円とかどっかいっちゃうので、その辺のこともね、毎年ごとのようにあるんだわね。2年前は、お母さんが私払ってますよと言つてきたんですね一度。去年はそういうことはなかったもんだから多分いや下の方は払ったけど上の子は多少は一緒に払ったような気がするとか、そういうことを聞いてるもんですから、こちらも請求しがたいし2回目言うとなんか何となく人間関係悪くなっちゃうもんだから、そのままにしてたんですけども、お金のことなんだから。

●学校教育課長

今のお話で徴収の関係ですけど、少し見直しをしようかなっていうふうに事務局の方では考えております。今まで指導員の方とか支援員の方に徴収の方お手伝いしていただくようなことをしておったんですけど、やはりなかなか心苦しい。お金払ってくださいと、

●大島委員

別には、最初の方だったらしいんですよ。

●学校教育課長

先生ちょっと聞いてください。そういう支援員の方もみえますので少しここは改めさせていただいて、また新しいやり方を考えていきたいなというふうに思います。

●大島委員

よろしくお願ひします。

●学校教育課長

はい。わかりました。ではお時間も迫ってきておりますので、はい、議題3なんですか、議題3のその他。

(伊藤(高) 委員挙手)

●学校教育課長

はい。どうぞ。

●伊藤(高) 委員

お時間ないところで申し訳ないんですけど、今ちょっと先ほどのアンケート結果中で、参考7のところで、放課後子ども教室に望むことは何ですかというところ、一番最初の上に書いてあるんですけども、高学年はお迎えなしで帰宅できるようにして欲しい、高学年の下校時に兄弟がいる子は一緒に帰らせて欲しいというようなことが書いてありました。当然そういう状況があることはわかりますし、それから児童館なんかではね登録してない子はもう適当に来て適当に帰ると。だけど放課後教室はそういう形で取ってないですね。今後もその4、5、6年もやるときに方針としてはもう今までと変わらずという。

●学校教育課長

はい。今までと変わらず保護者の方に迎えに来ていただいて、帰るという。

●伊藤(高) 委員

そういう方向で。

●学校教育課長

はい。

●伊藤（高）委員

わかりました。ありがとうございます。そこら辺のところ変わればそれこそ検討していくだけかなきやいけなくなってくるのでこれから我々の対応も変わってくるんですかね。その辺のところをちょっと聞きたかったもので。ありがとうございました。

●学校教育課長

はい。では長時間にわたりお疲れ様でございました。

以上をもちまして、令和7年度清須市放課後子ども教室運営委員会は終了させていただきます。ありがとうございました。

閉会

| | |
|--------|--------------------------------------|
| 会議の結果 | 審議に関する事項なし |
| 問い合わせ先 | 教育委員会事務局教育部学校教育課 052-400-2911（代表） |